

イギリス文化史入門

Introduction to English Studies : Culture and Literature

対面

科目提供大学名	甲南大学
担当教員	中島 俊郎（名誉教授）
単位数	2 単位
最大授業定員	54 名
開講学期	前期 3 時限（15：30～17：00） 水曜日（4月7日～7月14日、5月5日の休日は授業実施）
成績評価	成績評価は、原則として筆記試験（定期試験）を行わず、出席、平常テスト、レポート、授業中発表、授業期間中の成果をもって、総合評価を行います。 ▲以上のような原則ですので追試験・再試験は行いません。
テキスト	中島俊郎著『英国流旅の作法－グランド・ツアーから庭園文化まで』（講談社学術文庫、2020）
参考文献	講義中に随時指定する。
授業以外の学習方法	ツーリズムは本という参考文献のなかだけで論じられているものではないので、ひろくテレビ、映画などの視覚媒体をも参照すると立体的に理解することができる。
その他の特記事項	特になし
講義概要	ツーリズムを軸にイギリス文化史のなかで起きる諸現象について検討する。過去の出来事を過去の出来事としてとらえるのではなく、たえず現在との比較において考えるようにする。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. イギリス文化史におけるツーリズム 2. グランド・ツアー（目的と展開） 3. グランド・ツアー（旅の文化） 4. グランド・ツアー（影響） 5. ツーリズムと交通（陸路と水路） 6. 国内旅行と外国旅行（マス・ツーリズム） 7. ツーリズムとガイドブック 8. ツーリズムと庭園文化 9. ツーリズムと文学（文学ツーリズム） 10. ツーリズムと犯罪（ホームズと切り裂きジャック） 11. ツーリズムと環境保護 12. ウォーキング・ツアー（目的と展開） 13. ウォーキング・ツアー（歩行と文学） 14. ウォーキング・ツアー（歩行と環境問題） 15. 日本におけるイギリス・ツーリズムの影響